問 1. *

次の複素数を z = a + bi (a, b) は実数) の形で表せ.

(1)
$$z = \frac{1+i}{1-i} + \frac{1-2i}{1+2i}$$
 (2) $z = \left(\frac{-1+\sqrt{3}}{2}\right)^3$

問 2. * * *

 $\alpha=2+2i,\ \beta=3-2i,\ \gamma=-1-i$ とし、複素数平面上に点 $A(\alpha),\ B(\beta),\ C(\gamma)$ を定める. さらに $D(\delta)$ とする. 4 点 A,B,C,D が平行四辺形の頂点となるような複素数 δ をすべて求めよ.

問 3. **

- (1) z = 4 + 2i を原点まわりに $\pi/3$ だけ回転させた点を表す複素数を求めよ.
- (2) $z_1 = 1 + \sqrt{3}i$, $z_2 = 1 + i$ を極形式で表し、 $\cos \frac{\pi}{12}$ 、 $\sin \frac{\pi}{12}$ を求めよ.

問 4. **

 $\theta = \frac{\pi}{18}$ のとき、次の値を求めよ.

$$\frac{6(\cos 8\theta + i\sin 8\theta)(\cos 3\theta - i\sin 3\theta)}{\cos 2\theta + i\sin 2\theta}$$

問 5. **

- 二次方程式 $z^2 \sqrt{3}z + 1 = 0$ について,次の問に答えよ.
 - (1) この方程式の解を極形式で表せ.
 - (2) $z^6 + \frac{1}{z^{12}}$ の値を求めよ.

問 6. **

複素数平面上で、次の式を満たす点zの全体はどのような図形を表すか.

(1)
$$|z+2i| = 3$$
 (2) $|z-2i-1| = |iz+1|$ (3) $\left|\frac{z}{z-5}\right| = \frac{2}{3}$

問 7. **

複素数平面上で,点 $\mathbf{P}(z)$ が原点を中心とする半径 2 の円周上を動くとき,w=1/z の表す点 $\mathbf{Q}(w)$ はどのような図形を描くか.

問 8. * * **

 $\pi < \theta < 2\pi$ を満たす θ について, $z = 1 + \cos \theta + i \sin \theta$ とする.

- (1) z を極形式で表せ.
- (2) z^{2025} が正の実数になるような θ の個数を求めよ.

解答

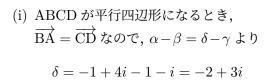
問 1.

$$(1) \ \frac{-3+i}{5}$$

(2)
$$z = \cos \frac{2}{3}\pi + i \sin \frac{2}{3}\pi$$
 なので、ド・モアブルの定理より $z^3 = \cos 2\pi + i \sin 2\pi = 1$

問 2.

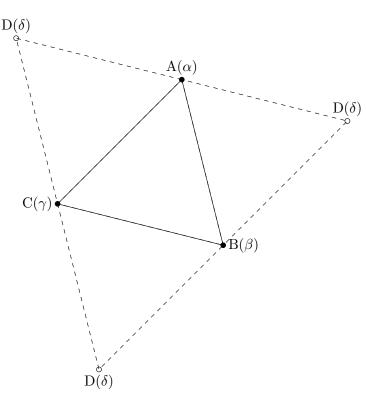
 $D(\delta)$ の位置により 3 種類の平行四辺形が考えられることに注意する.



- (ii) ABDC が平行四辺形になるとき、 $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CD}$ なので、 $\beta \alpha = \delta \gamma$ より $\delta = 1 4i 1 i = -5i$
- (iii) ADBC が平行四辺形になるとき、 $\overrightarrow{AD} = \overrightarrow{CB}$ なので、 $\delta \alpha = \beta \gamma$ より $\delta = 4 i + 2 + 2i = 6 + i$

よって、求める複素数 δ は、

$$\delta=-2+3i,-5i,6+i$$



問 3.

(1) 点を $\frac{\pi}{3}$ だけ回転させるには、 $\cos\frac{\pi}{3}+i\sin\frac{\pi}{3}$ をかければよい.よって、求める点は

$$z\left(\cos\frac{\pi}{3} + i\sin\frac{\pi}{3}\right) = (4+2i)\left(\frac{1+\sqrt{3}i}{2}\right) = 2-\sqrt{3} + (1+2\sqrt{3})i$$

(2) $z_1=2\left(\cos\frac{\pi}{3}+i\sin\frac{\pi}{3}
ight), \ z_2=\sqrt{2}\left(\cos\frac{\pi}{4}+i\sin\frac{\pi}{4}
ight)$ であるから、

$$\frac{z_1}{z_2} = \frac{2}{\sqrt{2}} \left(\cos\left(\frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4}\right) + i\sin\left(\frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4}\right) \right) = \sqrt{2} \left(\cos\frac{\pi}{12} + i\sin\frac{\pi}{12} \right) \tag{1}$$

である. 一方で、普通に z_1/z_2 を計算すると、

$$\frac{z_1}{z_2} = \frac{1+\sqrt{3}i}{1+i} = \frac{\sqrt{3}+1+(\sqrt{3}-1)i}{2} = \frac{\sqrt{3}+1}{2} + \frac{\sqrt{3}-1}{2}i \tag{2}$$

であるから, (1) と (2) の実部と虚部を比較して,

$$\cos\frac{\pi}{12} = \frac{\sqrt{3}+1}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6}+\sqrt{2}}{4}, \quad \sin\frac{\pi}{12} = \frac{\sqrt{3}-1}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{4}$$

と求まる.

問 4.

与えられた式を整理すると,

$$\frac{6(\cos 8\theta + i \sin 8\theta)(\cos 3\theta - i \sin 3\theta)}{\cos 2\theta + i \sin 2\theta} = \frac{6(\cos 8\theta + i \sin 8\theta)(\cos(-3\theta) + i \sin(-3\theta))}{\cos 2\theta + i \sin 2\theta}$$
$$= 6(\cos(8 - 3 - 2)\theta + i \sin(8 - 3 - 2)\theta)$$
$$= 6(\cos 3\theta + i \sin 3\theta)$$
$$= 6\left(\cos\left(3 \times \frac{\pi}{18}\right) + i \sin\left(3 \times \frac{\pi}{18}\right)\right)$$
$$= 6\left(\cos\frac{\pi}{6} + i \sin\frac{\pi}{6}\right)$$
$$= 3\sqrt{3} + 3i.$$

問 5.

(1) 解の公式から
$$z=\frac{\sqrt{3}\pm\sqrt{3-4}}{2}=\frac{\sqrt{3}\pm i}{2}$$
 なので、これを極形式で表すと
$$z=\cos\frac{\pi}{6}\pm i\sin\frac{\pi}{6}$$

(2) ド・モアブルの定理により、

$$z^{6} = \cos \pi + i \sin \pi = -1$$
$$\frac{\pi}{12} = z^{-12} = \cos(-2\pi) + i \sin(-2\pi) = 1$$

なので、 $z^6 + \frac{1}{z^{12}} = -1 + 1 = 0$ を得る.

問 6.

- (1) |z + 2i| = |z (-2i)| = 3 なので、この等式を満たす z 全体の集合は -2i からの距離が 3 である複素数全体の集合である。つまり、求める図形は 2i を中心とする半径 3 の円。
- |z-(1+2i)| = |i||z-i| = |z-i| と変形できるので、この等式を満たす z 全体の集合は 1+2i からの距離と i からの距離が等しい複素数全体の集合である。つまり、求める図形は 1+2i と i を結ぶ線分の垂直二等分線。
- (3) 3|z| = 2|z-5| の両辺を 2 乗すると、

$$9z\overline{z} = 2(z-5)(\overline{z}-5) = 4z\overline{z} - 20z - 20\overline{z} + 100$$

であるから,

$$5z\overline{z} + 20z + 20\overline{z} - 100 = 5(z+4)(\overline{z}+4) - 180 = 0$$

両辺を5で割れば

$$|z+4|^2 = (z+4)(\overline{z}+4) = 36$$

より

$$|z + 4| = 6$$

となるので、求める図形は -4 を中心とする半径 6 の円である.

問 7.

原点を中心とする半径 2 の円周上の点 z は 実数 θ を用いて $z=2(\cos\theta+i\sin\theta)$ と書けるので、

$$w = \frac{1}{z} = z^{-1} = \frac{1}{2}(\cos(-\theta) + i\sin(-\theta))$$

である. θ が実数全体を動くとき, $-\theta$ も実数全体を動くので,w が表す図形は原点を中心とする 半径 $\frac{1}{2}$ の円である.

問 8.

(1) $1+\cos\theta=2\cos^2\frac{\theta}{2}$ であること、および $\pi<\theta<2\pi$ より $\cos\frac{\theta}{2}<0$ であることに注意して |z| を計算すると、

$$|z| = \sqrt{(1 + \cos \theta)^2 + \sin^2 \theta} = \sqrt{2(1 + \cos \theta)} = \sqrt{4\cos^2 \frac{\theta}{2}} = 2\left|\cos \frac{\theta}{2}\right| = -2\cos \frac{\theta}{2}$$

である. 次に、 $\arg z$ を求めよう. $\arg z = \alpha$ とおくと、

$$\cos \alpha = \frac{1 + \cos \theta}{-2 \cos \frac{\theta}{2}} = \frac{2 \cos^2 \frac{\theta}{2}}{-2 \cos \frac{\theta}{2}} = -\cos \frac{\theta}{2} = \cos \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right)$$
$$\sin \alpha = \frac{\sin \theta}{-2 \cos \frac{\theta}{2}} = \frac{2 \sin \frac{\theta}{2} \cos \frac{\theta}{2}}{-2 \cos \frac{\theta}{2}} = -\sin \frac{\theta}{2} = \sin \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right)$$

が成り立つ. よって、zの極形式表示は

$$z = |z|(\cos \alpha + i \sin \alpha) = -2\cos \frac{\theta}{2} \left(\cos \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right) + i \sin \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right)\right).$$

(2) ド・モアブルの定理より,

$$z^{2025} = \left(-2\cos\frac{\theta}{2}\right)^{2025} \left(\cos 2025 \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right) + i\sin 2025 \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right)\right)$$

 $-2\cos\frac{\theta}{2}>0$ なので、 z^{2025} が正の実数になるための条件は、

$$\cos 2025 \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right) = 1 \Longleftrightarrow 2025 \left(\pi + \frac{\theta}{2}\right) = 2n\pi \left(n \text{ は整数}\right)$$
 (3)

である. さらに、 $\pi < \theta < 2\pi$ より

$$\frac{6075}{2}\pi < 2025\left(\pi + \frac{\theta}{2}\right) < 5050\pi$$

であるから, (3) と合わせて

$$1518.75 = \frac{6075}{4} < n < \frac{5050}{2} = 2525$$

を得る. これを満たす整数 n は $n=1519,1520,\ldots,2523,2524$ の合計 1006 個である.

$$\theta = \frac{2(2n - 2025)\pi}{2025}$$

なので、求めるべき θ も 1006 個ある.